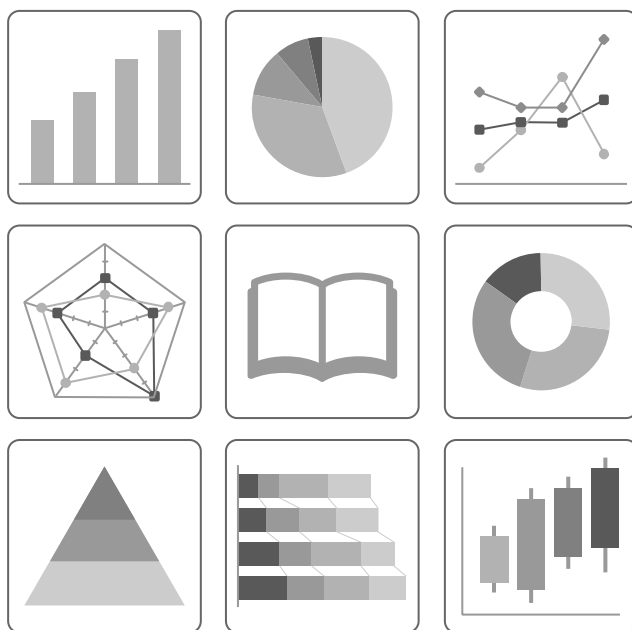


# 枚方市

## 子ども・子育て支援に関するアンケート調査 調査結果（概要版）



令和6年5月

枚 方 市



# 目次

|                                             |    |
|---------------------------------------------|----|
| <u>I 調査の概要</u> .....                        | 1  |
| <u>1 調査の目的</u> .....                        | 1  |
| <u>2 調査対象</u> .....                         | 1  |
| <u>3 調査期間</u> .....                         | 1  |
| <u>4 調査方法</u> .....                         | 1  |
| <u>5 回収状況</u> .....                         | 1  |
| <u>6 調査結果の表示方法</u> .....                    | 2  |
| <br>                                        |    |
| <u>II 調査結果</u> .....                        | 3  |
| <u>1 就学前児童の保護者</u> .....                    | 3  |
| <u>(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について</u> .....      | 3  |
| <u>(2) 保護者の就労状況について</u> .....               | 4  |
| <u>(3) 子育てについて</u> .....                    | 7  |
| <u>(4) 保育サービスの利用について</u> .....              | 11 |
| <u>(5) 病児・病後児の保育の利用について</u> .....           | 17 |
| <u>(6) 一時預かりの利用について</u> .....               | 19 |
| <u>(7) 令和6年4月から小学校へ入学するお子さんの保護者の方</u> ..... | 21 |
| <u>(8) 地域子育て支援拠点事業の利用について</u> .....         | 24 |
| <u>(9) 育児休業制度の利用について</u> .....              | 25 |
| <u>(10) 行政サービスへの要望について</u> .....            | 27 |
| <br>                                        |    |
| <u>2 小学生児童の保護者</u> .....                    | 29 |
| <u>(1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について</u> .....      | 29 |
| <u>(2) 保護者の就労状況について</u> .....               | 31 |
| <u>(3) 子育てについて</u> .....                    | 34 |
| <u>(4) 留守家庭児童会室の利用について</u> .....            | 35 |
| <u>(5) 行政サービスへの要望について</u> .....             | 38 |

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づき、令和2年3月に「第2期枚方市子ども・子育て支援事業計画」（期間：令和2年度～令和6年度）を策定し、子ども・子育て施策の総合的かつ計画的な推進に努めているところです。

この度、本計画の計画期間が令和6年度末までであることから、この計画を引き継ぐ、令和7年度以降の新たな計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

## 2 調査対象

|           | 対象者                          |
|-----------|------------------------------|
| 就学前児童の保護者 | 市内在住の就学前の子どもから3,000人の方を無作為抽出 |
| 小学生児童の保護者 | 市内在住の小学生の子どもから3,000人の方を無作為抽出 |

## 3 調査期間

令和6年2月19日～令和6年3月11日

## 4 調査方法

郵送による配布・回収またはインターネット回答

## 5 回収状況

|           | 配布数    | 有効回答数  | 有効回答率 |
|-----------|--------|--------|-------|
| 就学前児童の保護者 | 3,000通 | 1,986通 | 66.2% |
| 小学生児童の保護者 | 3,000通 | 1,883通 | 62.8% |

## 6 調査結果の表示方法

- ・ 回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・ 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・ 回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。
- ・ 前回調査では複数回答の設問は無回答を記載していないため、今回調査では「－」と記載しています。

## Ⅱ 調査結果

### 1 就学前児童の保護者

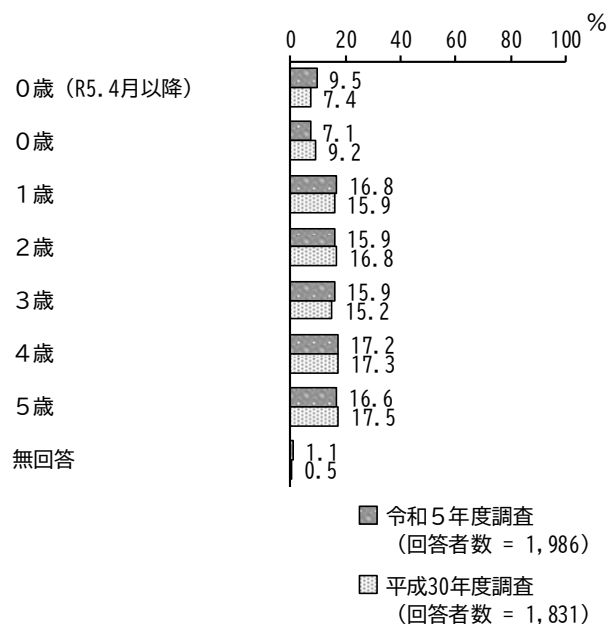
#### (1) 封筒のあて名のお子さんのご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

「4歳」の割合が17.2%と最も高く、次いで

「1歳」の割合が16.8%、「5歳」の割合が16.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

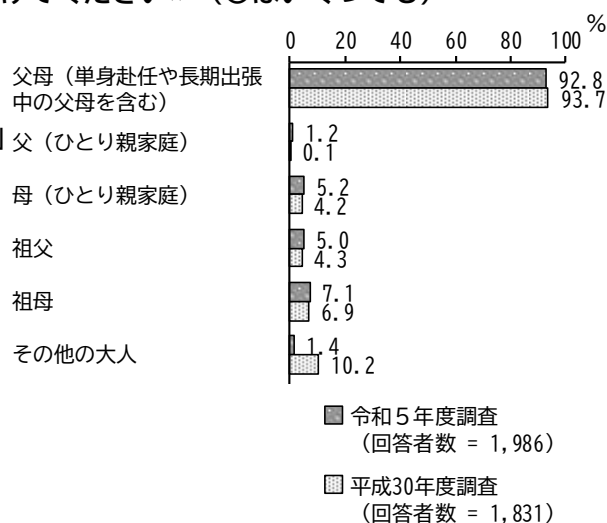


問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

« (1) お子さんと同居している方（大人）に○をつけてください» (○はいくつでも)

「父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む）」の割合が92.8%と最も高くなっています。

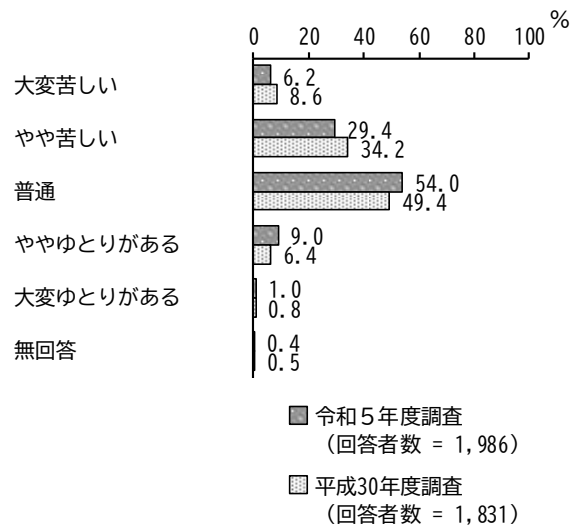
平成30年度調査と比較すると、「その他の大人」の割合が減少しています。



## (2) 保護者の就労状況について

### 問8 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

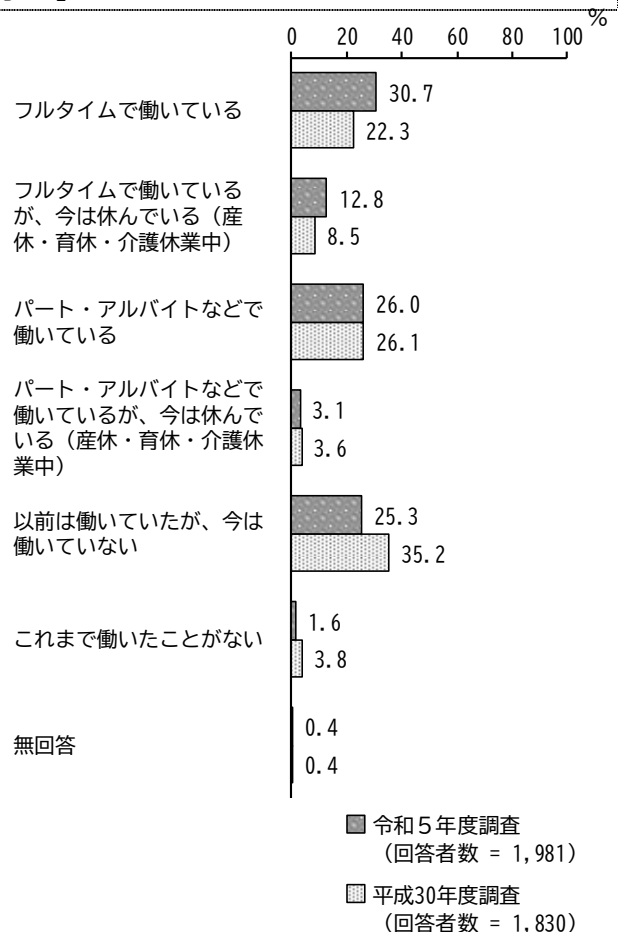
「普通」の割合が 54.0%と最も高く、次いで「やや苦しい」の割合が 29.4%となっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 問9 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ) ＜父子家庭の場合は記入不要です。⇒【問10】へ＞

「フルタイムで働いている」の割合が 30.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が 26.0%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が 25.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合が増加しています。一方、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が減少しています。

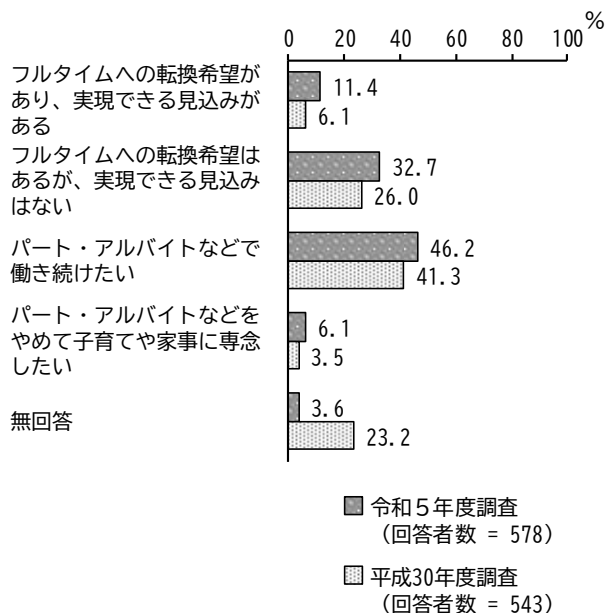


問 11 問9または問10で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。

(1) 母親 (〇は1つ)

「パート・アルバイトなどで働きたい」の割合が46.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が32.7%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合が11.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が増加しています。

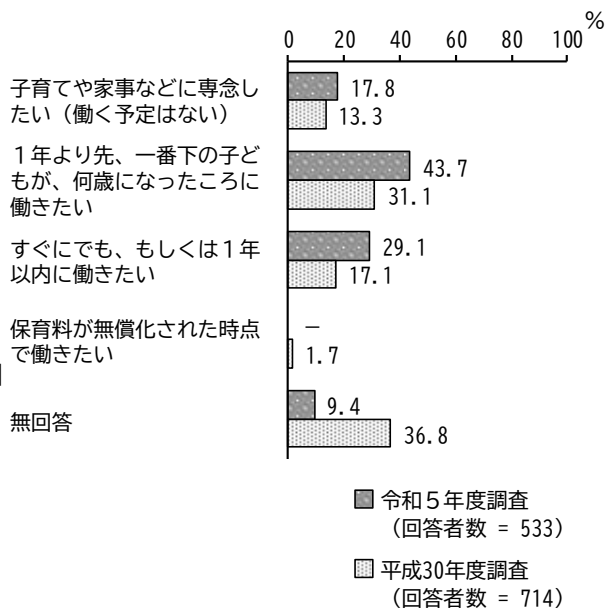


問 12 問9または問10で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

(1) 母親 (〇は1つ)

「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」の割合が43.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が29.1%、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合が17.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が増加しています。



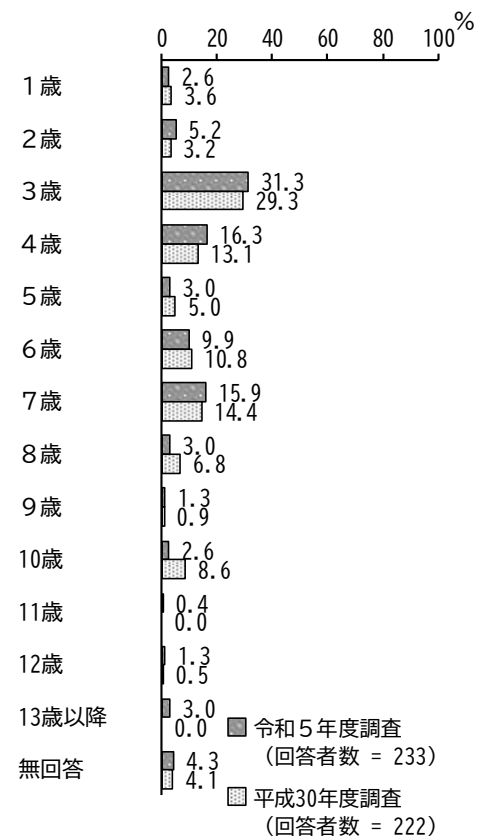
※前回調査では、「保育料が無償化された時点で働きたい」の選択肢がありました。



### 母親が就労を希望する末子の年齢

「3歳」の割合が 31.3%と最も高く、次いで「4歳」の割合が 16.3%、「7歳」の割合が 15.9%となっています。

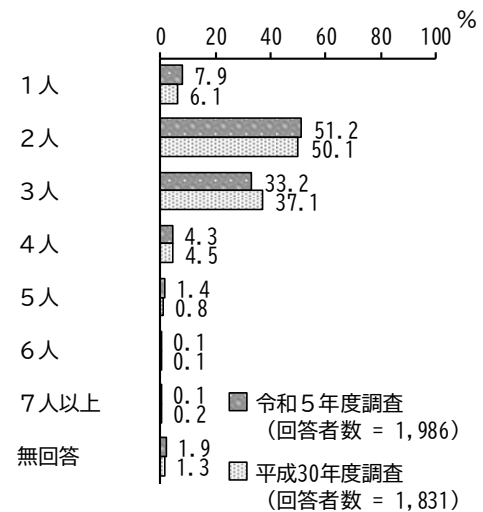
平成 30 年度調査と比較すると、「10歳」の割合が減少しています。



### (3) 子育てについて

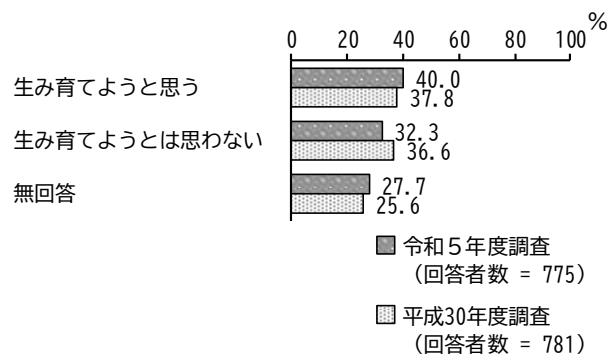
#### 問 13 希望する子どもの数は何人ですか。

「2人」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「3人」の割合が 33.2%となっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



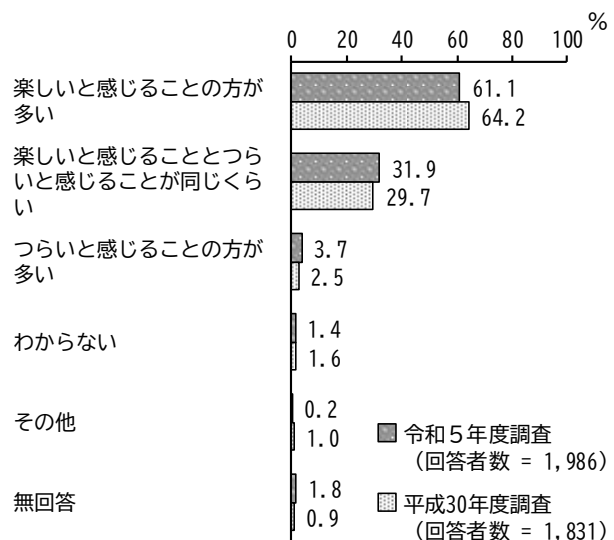
#### 問 14 希望する子どもの数が現在の子どもの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等において、もう一人子どもを生み育てようと思いますか。(〇は1つ)

「生み育てようと思う」の割合が 40.0%、「生み育てようとは思わない」の割合が 32.3%となっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 問 15 子育てについて、どのように感じていますか (〇は1つ)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 61.1%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が 31.9%となっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

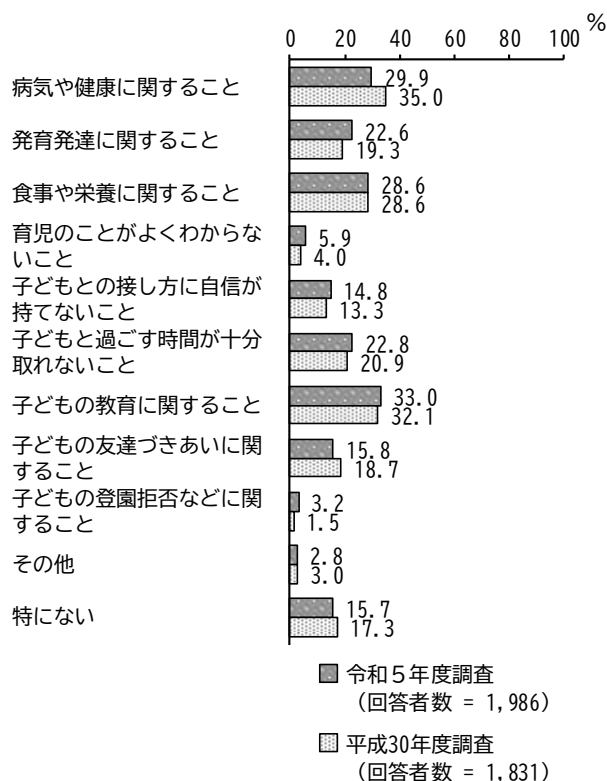


問 17 子育てに関して、あなたが日常悩んでいること、あるいは気になることは何ですか。また、「2. 発育発達に関すること」を選ばれた場合は、具体的な内容に○をつけてください。

(1) 子どもに関すること (○はいくつでも)

「子どもの教育に関すること」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「病気や健康に関すること」の割合が 29.9%、「食事や栄養に関すること」の割合が 28.6%となっています。

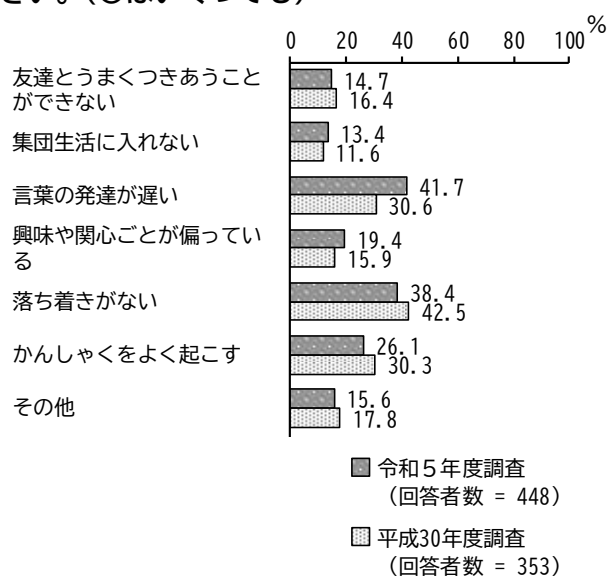
平成 30 年度調査と比較すると、「病気や健康に関すること」の割合が減少しています。



2. 発育発達に関することについて以下もお選びください。(○はいくつでも)

「言葉の発達が遅い」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「落ち着きがない」の割合が 38.4%、「かんしゃくをよく起こす」の割合が 26.1%となっています。

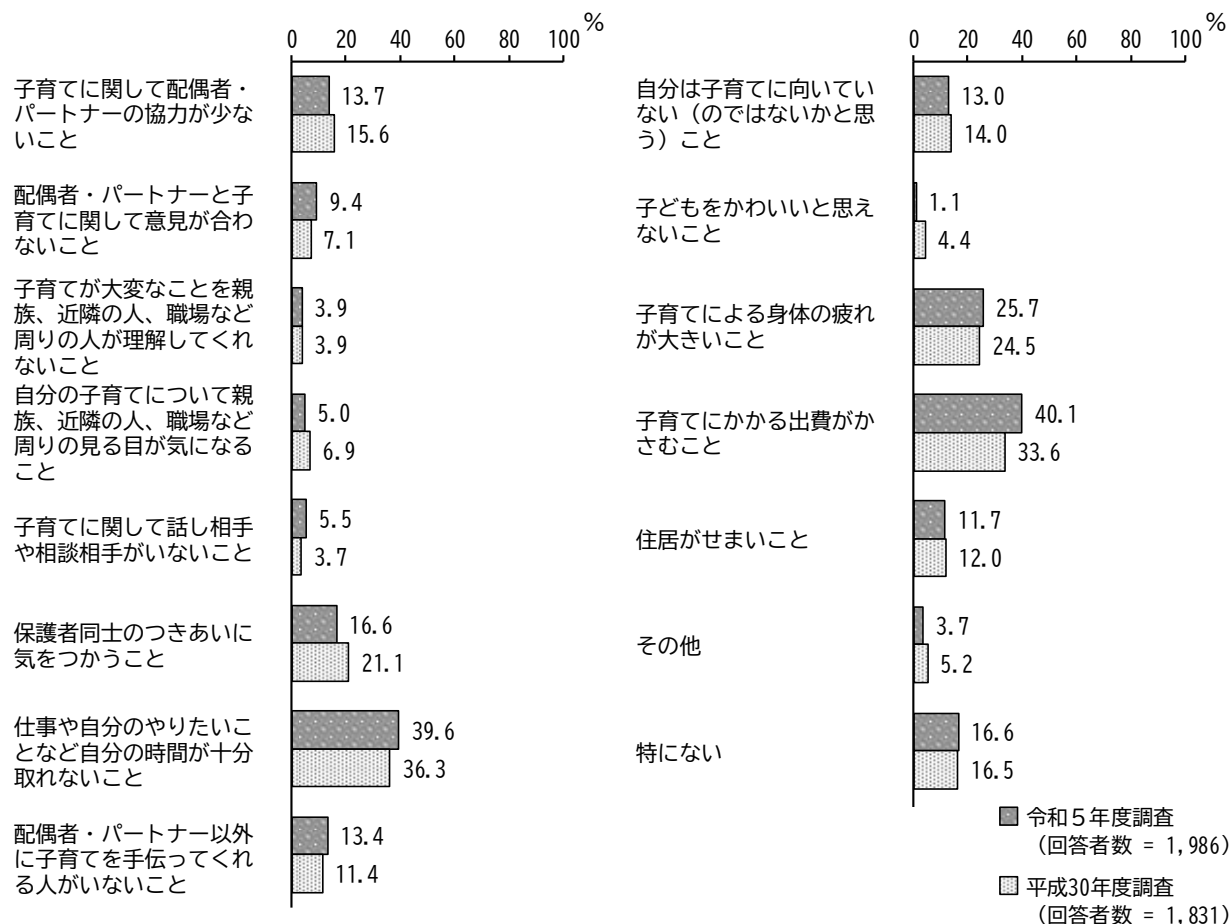
平成 30 年度調査と比較すると、「言葉の発達が遅い」の割合が増加しています。



## (2) あなたに関すること (〇はいくつでも)

「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が 40.1%と最も高く、次いで「仕事や自分のやりたいことなど自分の時間が十分取れないこと」の割合が 39.6%、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」の割合が 25.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てにかかる出費がかさむこと」の割合が増加しています。

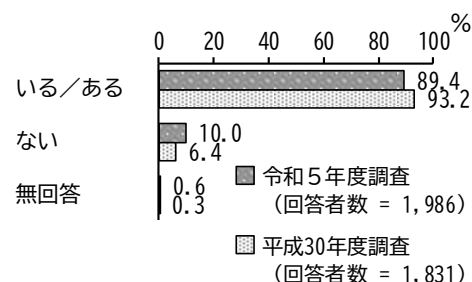


※前回調査では、「子どもをかわいいと思えないこと」の選択肢が「子どもがかわいく思えないことがあること」でした。

問 18 お子さんの子育てや健康や教育について、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

「いる／ある」の割合が 89.4%、「ない」の割合が 10.0%となっています。

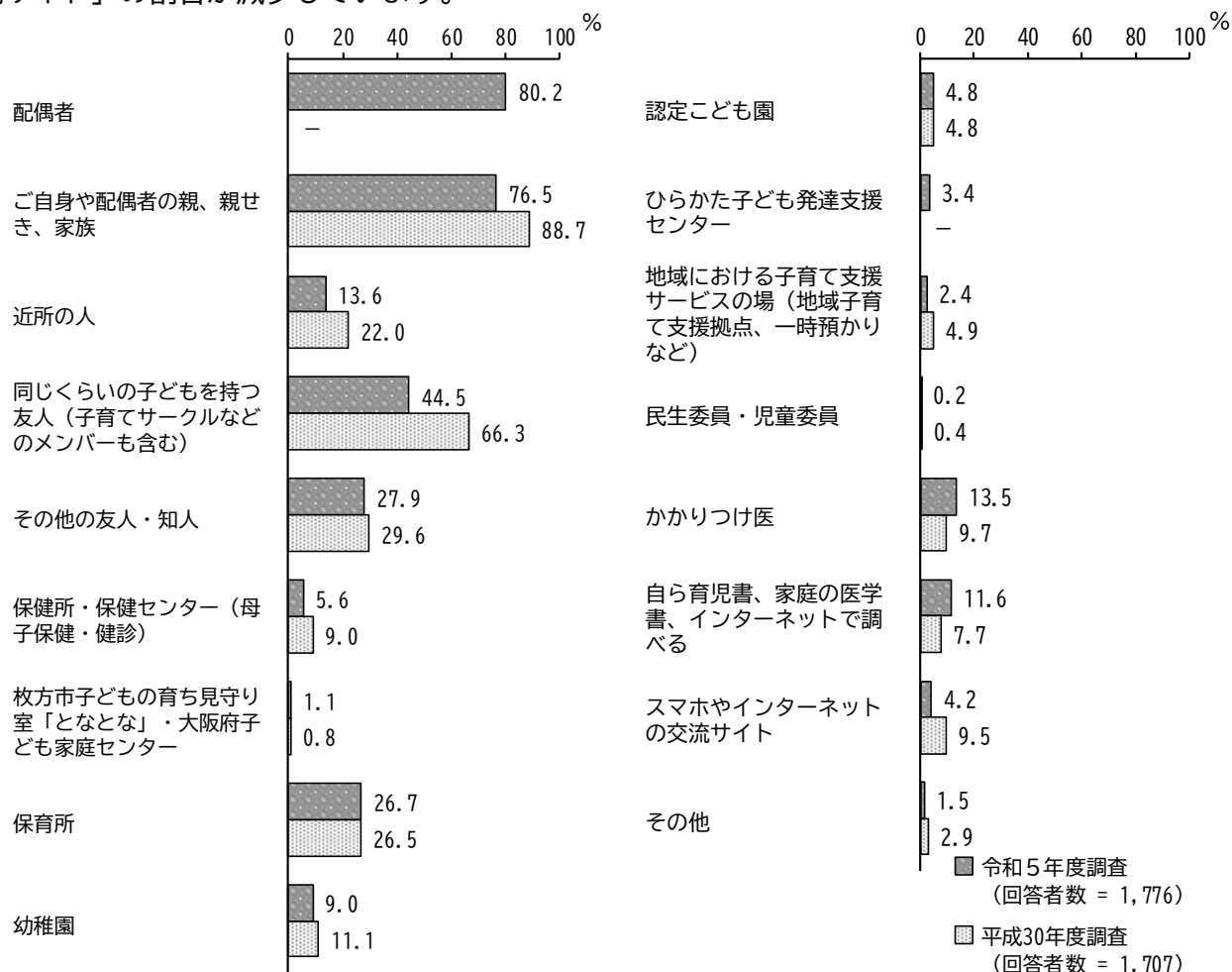
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 18-1 問 18 で「1. いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(○はいくつでも)

「配偶者」の割合が 80.2%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」の割合が 76.5%、「同じくらいの子どもを持つ友人（子育てサークルなどのメンバーも含む）」の割合が 44.5%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」「近所の人」「同じくらいの子どもを持つ友人（子育てサークルなどのメンバーも含む）」「スマホやインターネットの交流サイト」の割合が減少しています。



※前回調査では、「配偶者」「ひらかた子ども発達支援センター」の選択肢はありませんでした。

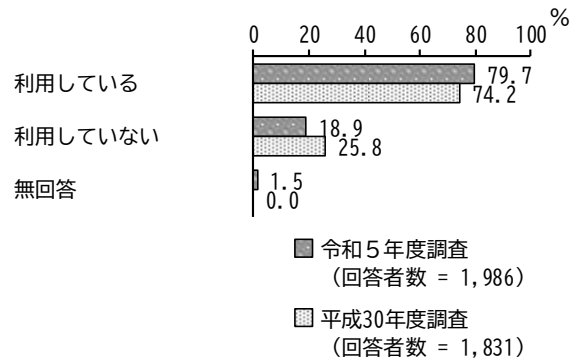
※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」・大阪府子ども家庭センター」の選択肢が「枚方市子ども総合相談センター「となとな」・大阪府子ども家庭センター」、「かかりつけ医」の選択肢が「医師、看護師」、「スマホやインターネットの交流サイト」の選択肢が「携帯電話やインターネットの交流サイト」でした。

#### (4) 保育サービスの利用について

問 19 平日（月曜日～金曜日）に、「幼稚園」や「保育所」、「認定こども園」などの子どもを預かる施設（問 19－1 に記載の施設）やサービスを「定期的に」利用されていますか。（○は1つ）

「利用している」の割合が 79.7%、「利用していない」の割合が 18.9%となっています。

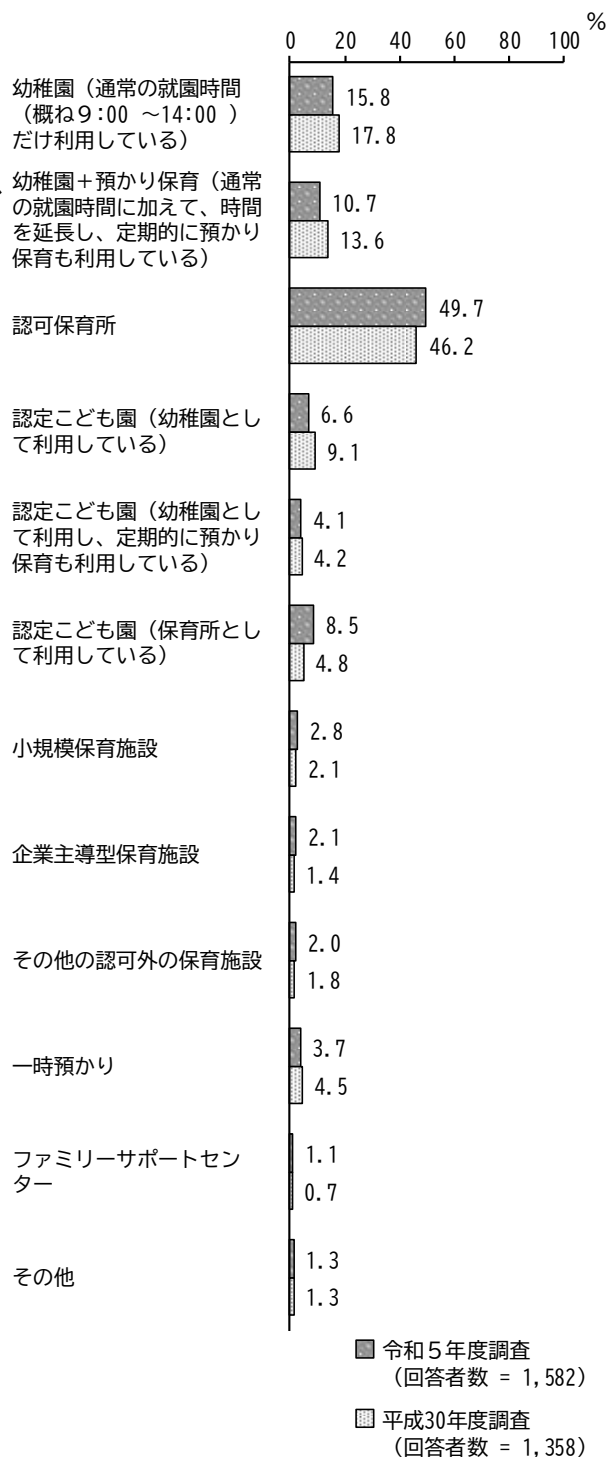
平成 30 年度調査と比較すると、「利用している」の割合が増加しています。一方、「利用していない」の割合が減少しています。



問 19－1 問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。お子さんは、現在、どのような施設やサービスを利用していますか。年間を通じて平日に定期的に利用されているサービスに、○をつけてください。（○はいくつでも）

「認可保育所」の割合が 49.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間（概ね 9:00 ～ 14:00 ） だけ利用している）」の割合が 15.8%、「幼稚園＋預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が 10.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



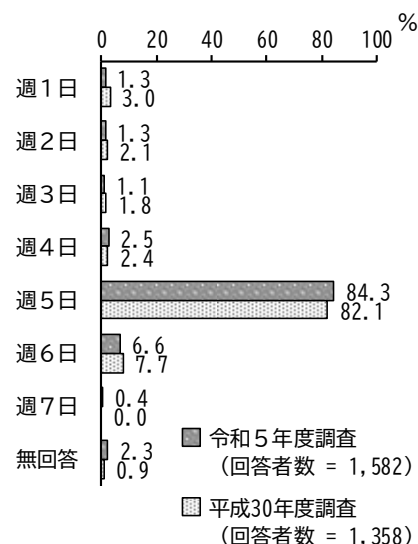
問 19－2 問 19 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している幼稚園や保育所、認定こども園などについて、もっとも多いパターンとして、1 週間に、また、1 日あたりどのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に具体的な数字を入れてください。※時間は、必ず（例）9 時台～19 時台のように 24 時間制でご記入ください。

## （1）現在

### 1 週あたりの幼稚園や保育所などの利用日数

「週 5 日」の割合が 84.3%と最も高くなっています。

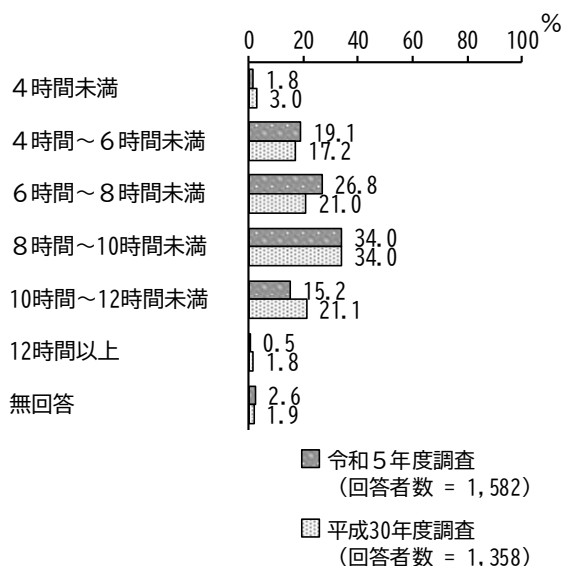
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



### 1 日当たりの利用時間

「8 時間～10 時間未満」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「6 時間～8 時間未満」の割合が 26.8%、「4 時間～6 時間未満」の割合が 19.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「6 時間～8 時間未満」の割合が増加しています。一方、「10 時間～12 時間未満」の割合が減少しています。



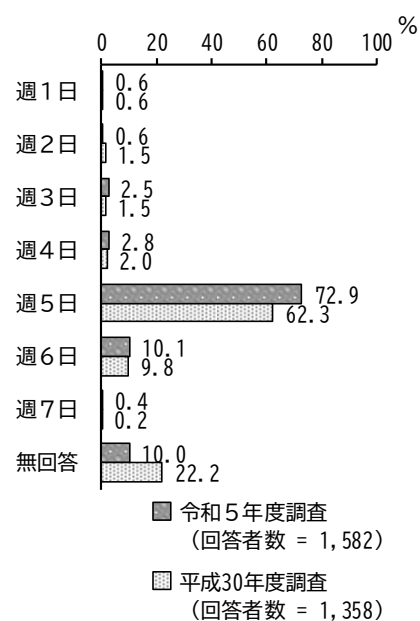


## (2) 希望

### 1 週当たりの幼稚園や保育所などの利用日数

「週5日」の割合が72.9%と最も高く、次いで「週6日」の割合が10.1%となっています。

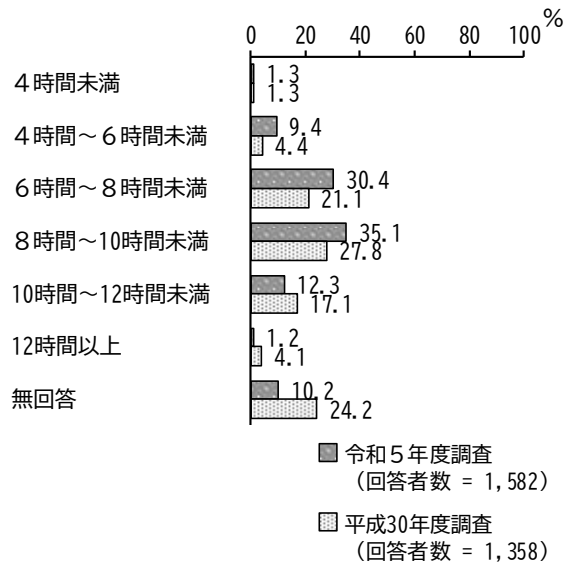
平成30年度調査と比較すると、「週5日」の割合が増加しています。



### 1 日当たりの希望利用時間

「8時間～10時間未満」の割合が35.1%と最も高く、次いで「6時間～8時間未満」の割合が30.4%、「10時間～12時間未満」の割合が12.3%となっています。

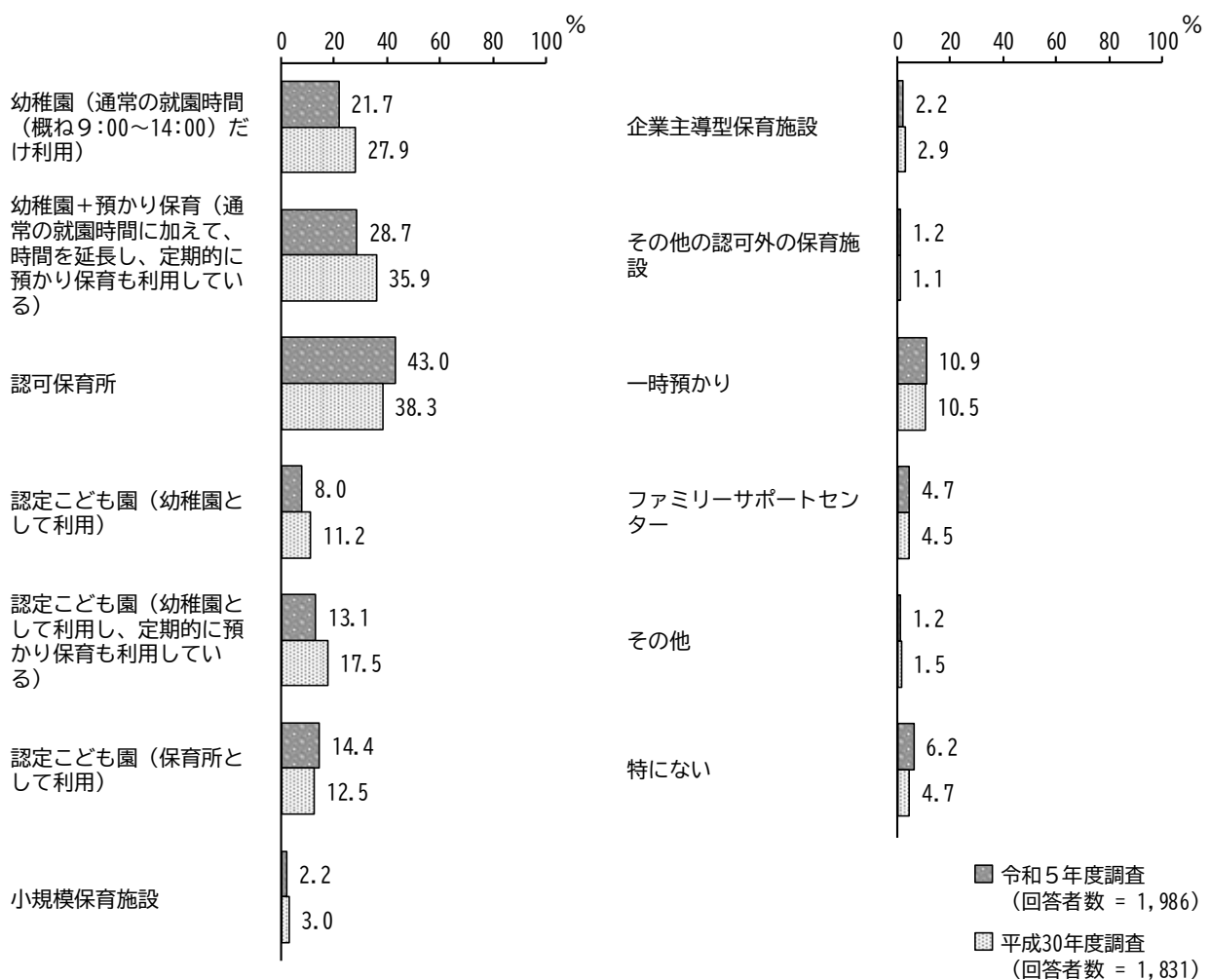
平成30年度調査と比較すると、「6時間～8時間未満」「8時間～10時間未満」の割合が増加しています。



問 20 幼稚園や保育所、認定こども園などを、現在利用している、利用していないにかかわらず、お子さんに平日に「定期的に」利用させたいもの（継続も含む）をお答えください。（〇はいくつでも）

「認可保育所」の割合が 43.0%と最も高く、次いで「幼稚園＋預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が 28.7%、「幼稚園（通常の就園時間（概ね 9:00～14:00）だけ利用）」の割合が 21.7%となっています。

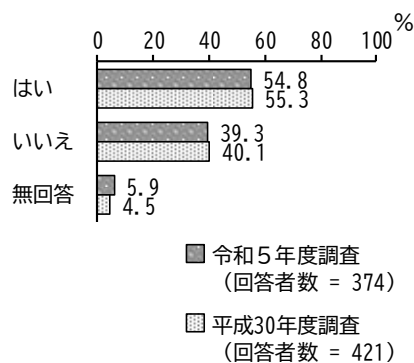
平成 30 年度調査と比較すると、「幼稚園（通常の就園時間（概ね 9:00～14:00）だけ利用）」「幼稚園＋預かり保育（通常の就園時間に加えて、時間を延長し、定期的に預かり保育も利用している）」の割合が減少しています。



問 20－2 問 20 で「1. 幼稚園」「2. 幼稚園＋預かり保育」「4. 認定こども園（幼稚園として利用）」「5. 認定こども園（幼稚園として利用し、定期的に預かり保育も利用している）」のいずれか（幼稚園を利用）に○をつけた方で、「3. 認可保育所」または「6. 認定こども園（保育所として利用）」～「12. その他」のいずれかにも○をつけた方にお伺いします。他の施設より、特に幼稚園または認定こども園（幼稚園として利用）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

「はい」の割合が 54.8%、「いいえ」の割合が 39.3%となっています。

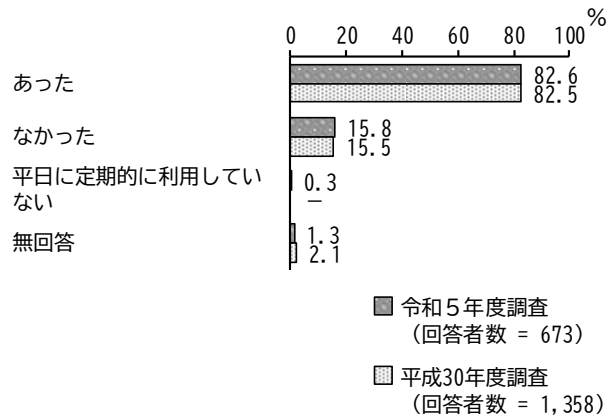
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## (5) 病児・病後児の保育の利用について

問 23 問 19-1 で平日に定期的に幼稚園や保育所、認定こども園などを利用していると答えた保護者の方に、お伺いします。この1年間に、お子さんが病気やけがで、幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかったことはありますか。  
(〇は1つ)

「あった」の割合が82.6%と最も高く、次いで「なかった」の割合が15.8%となっています。  
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

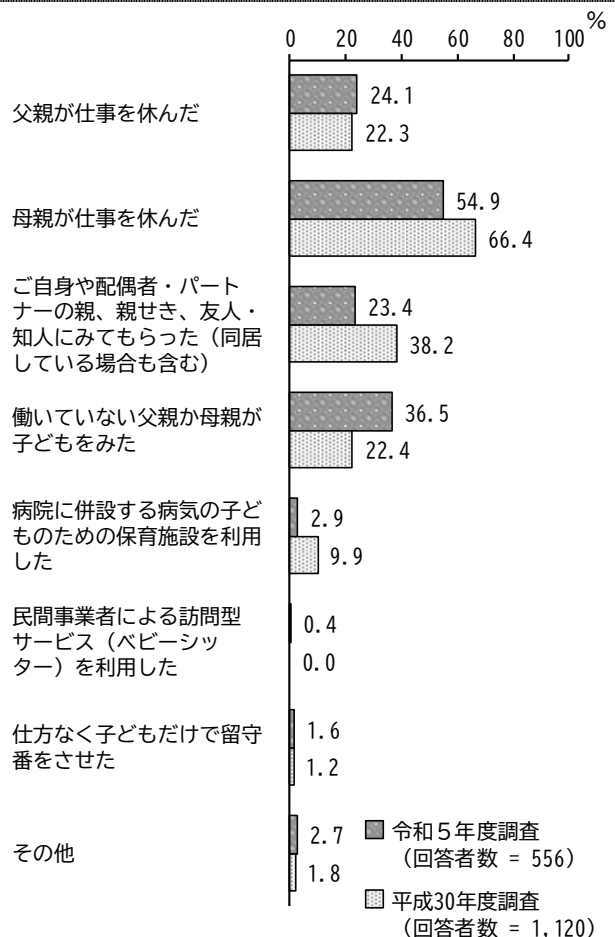


※前回調査では、「平日に定期的に利用していない」の選択肢はありませんでした。

問 23-1 問 23 で「1. あった」を選ばれた方にお伺いします。この1年間で、お子さんが病気で幼稚園や保育所、認定こども園などを利用できなかった場合の対処方法とその日数は何日くらいですか。その日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。(半日程度についても1日としてカウントしてください)  
(〇はいくつでも)

「母親が仕事を休んだ」の割合が54.9%と最も高く、次いで「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が36.5%、「父親が仕事を休んだ」の割合が24.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「働いていない父親か母親が子どもをみた」の割合が増加しています。一方、「母親が仕事を休んだ」「ご自身や配偶者・パートナーの親、親せき、友人・知人にみてもらった(同居している場合も含む)」「病院に併設する病気の子どものための保育施設を利用した」の割合が減少しています。



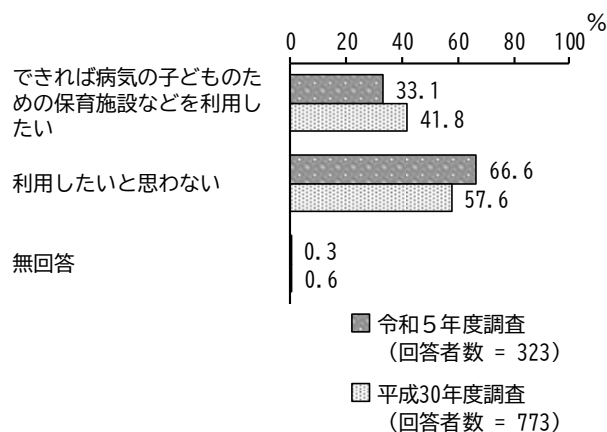
問 23－2 問 23－1 で「ア. 父親が仕事を休んだ」「イ. 母親が仕事を休んだ」を選ばれた方にお伺いします。そのときに「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」と思われましたか。

(○は 1 つ) 希望がある方はカッコ内に具体的な数字を入れてください。

※病気の子どものための保育施設などの利用には、一定の利用料がかかり、また、利用前にかかりつけ医の診察を受け、その診断書を施設に提出するなどの手続きが必要な場合があります。

「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が 33.1%、「利用したいと思わない」の割合が 66.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用したいと思わない」の割合が増加しています。一方、「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合が減少しています。



## (6) 一時預かりの利用について

問 24 この1年間に、私用、ご自身やご家族の通院、不定期な仕事やリフレッシュなどを理由として、子どもを預かるサービスを「不定期に」利用しましたか。  
(○はいくつでも) 1年間のおおよその利用日数についてカッコ内に具体的な数字を入れてください。※幼稚園や保育所、認定こども園などの定期的な利用や子どもが病気のときの保育施設などの利用は除きます。

「利用していない」の割合が 79.8%と最も高くなっています。  
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

一時預かり（私用などの理由で、保育所などで一時的に子どもを保育するサービス）

幼稚園や認定こども園の預かり保育（幼稚園等に通う子どもを対象にして、通常の就園時間を延長して預かるサービスを不定期に利用している場合）

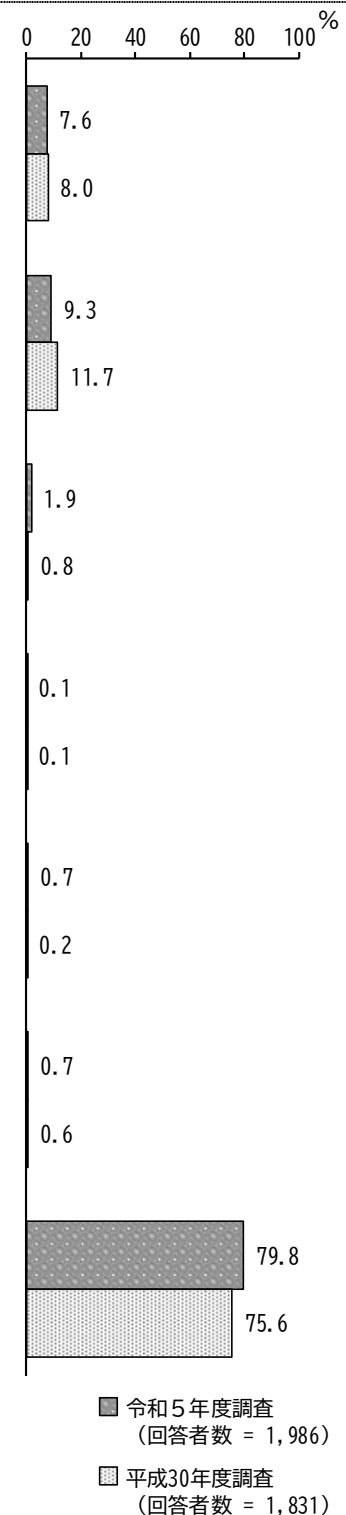
ファミリーサポートセンター（有償ボランティアによる子どもの預かりや送迎を受けられる事業）

夜間養護事業：トワイライトステイ（仕事などの理由により、児童養護施設などで休日や夜間に子どもを一時的に預かるもの）

ベビーシッター

その他

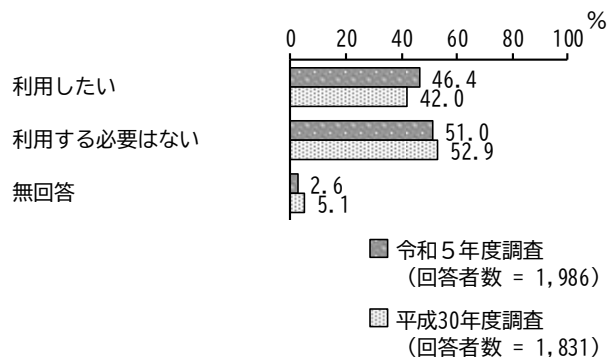
利用していない



問 25 私用、ご自身やご家族の通院、不規則な仕事やリフレッシュなどを理由に、保育所などで実施されている「一時預かり」について、1年間に何日くらいを利用したいと思いますか。(〇は1つ) また、利用したい場合、利用したい目的ごとにカッコ内に日数を記入し、合計のカッコ内についても記入してください。※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「利用したい」の割合が46.4%、「利用する必要はない」の割合が51.0%となっています。

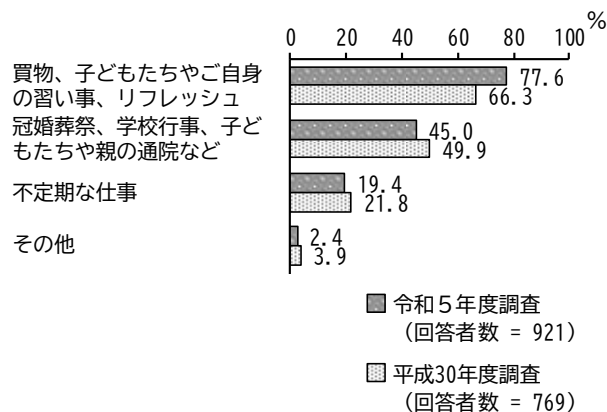
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



## 利用目的

「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」の割合が77.6%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもたちや親の通院など」の割合が45.0%、「不規則な仕事」の割合が19.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「買物、子どもたちやご自身の習い事、リフレッシュ」の割合が増加しています。

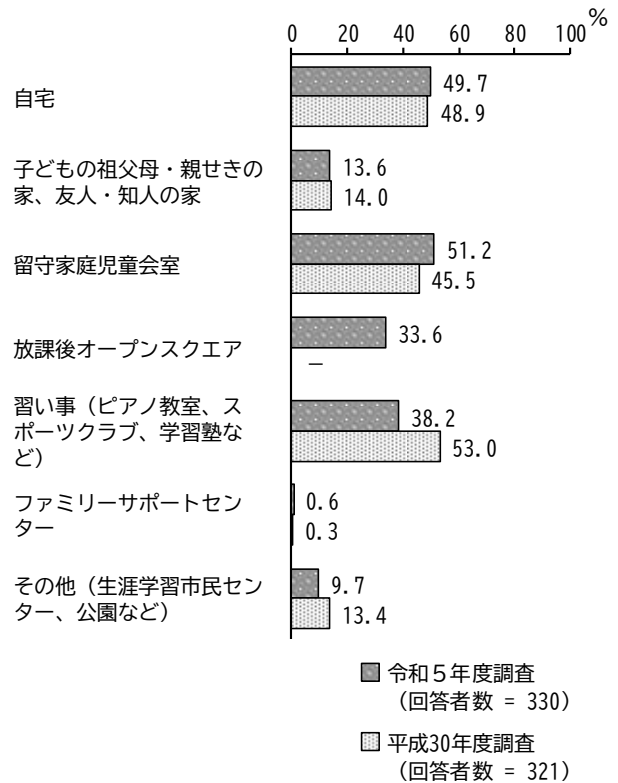


## (7) 令和6年4月から小学校へ入学するお子さんの保護者の方

問 27 小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また選んだ項目について、1週間（またはひと月）の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は（18）時までのように24時間制で記入してください。

「留守家庭児童会室」の割合が51.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が49.7%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が38.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「留守家庭児童会室」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



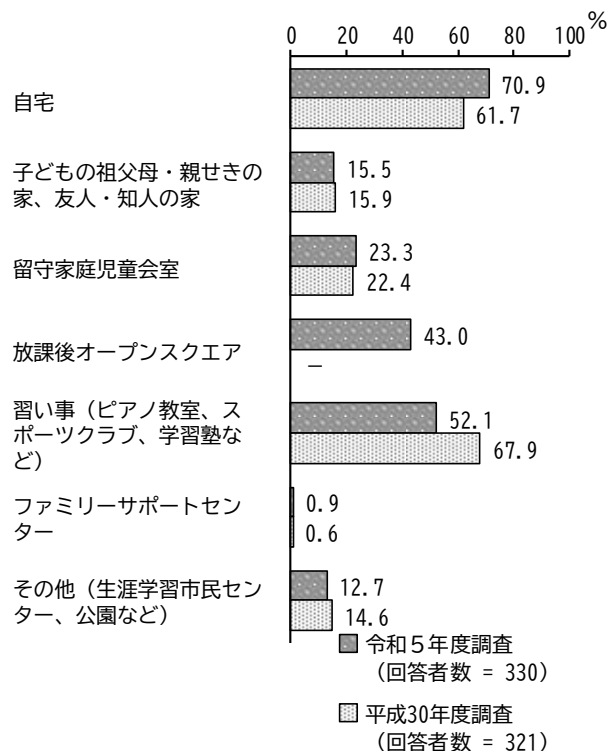
※前回調査では、「放課後オープンスクエア」の選択肢が「放課後自習教室」「放課後子ども教室」と分かれていました。



問 28 小学校高学年（４～６年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（○はいくつでも）また、選んだ項目について、１週間（またはひと月）の希望日数について、カッコ内に数字を入れてください。※「留守家庭児童会室」の場合は、利用時間も記入してください。時間は（18）時のように 24 時間制で記入してください。※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

「自宅」の割合が 70.9%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が 52.1%、「放課後オープンスクエア」の割合が 43.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「自宅」の割合が増加しています。一方、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」の割合が減少しています。



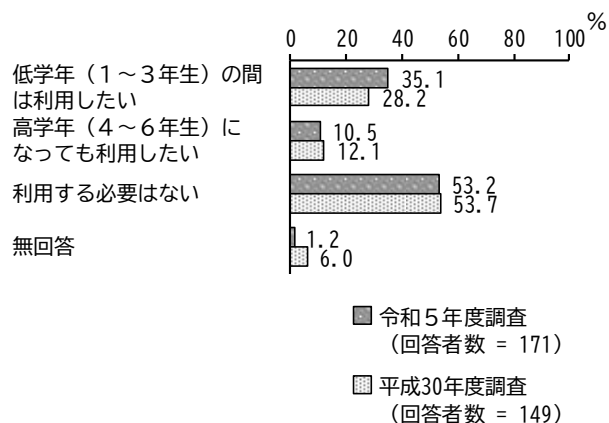
※前回調査では、「放課後オープンスクエア」の選択肢が「放課後自習教室」「放課後子ども教室」と分かれていました。

問 29 問 27 または問 28 で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。（それぞれについて○は 1 つ）※利用したい時間帯を、カッコ内に（9 時台～17 時台）のように 24 時間制で入れてください。

### （１）土曜日

「利用する必要はない」の割合が 53.2%と最も高く、次いで「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が 35.1%、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」の割合が 10.5%となっています。

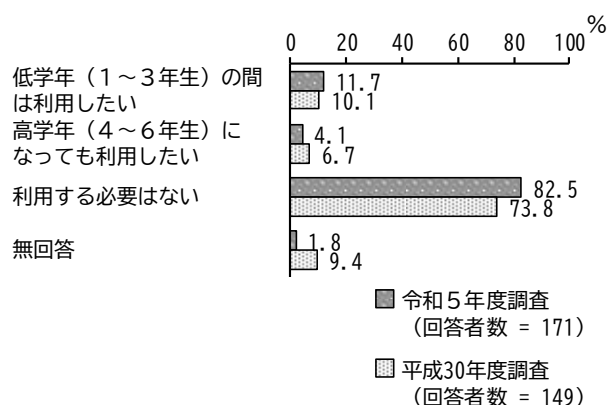
平成 30 年度調査と比較すると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。



## (2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が82.5%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が11.7%となっています。

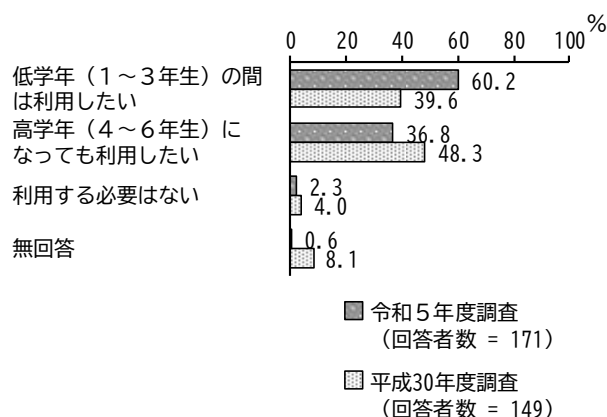
平成30年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。



問30 問27または問28で「3. 留守家庭児童会室」を選ばれた方にお伺いします。お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の留守家庭児童会室の利用希望はありますか。（○は1つ）

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が60.2%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が36.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

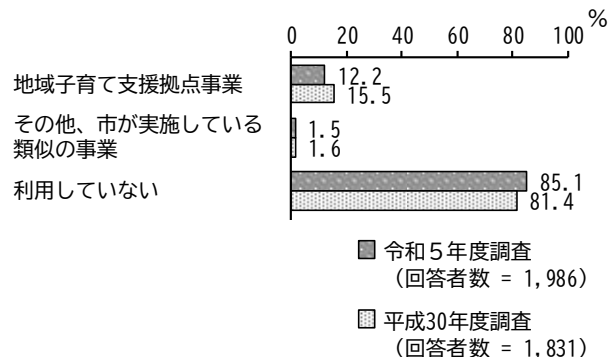


## (8) 地域子育て支援拠点事業の利用について

問 31 地域子育て支援拠点事業についてお伺いします。現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。(○はいくつでも) また、おおよその利用回数について、カッコ内に数字を入れてください。

「利用していない」の割合が 85.1%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」の割合が 12.2%となっています。

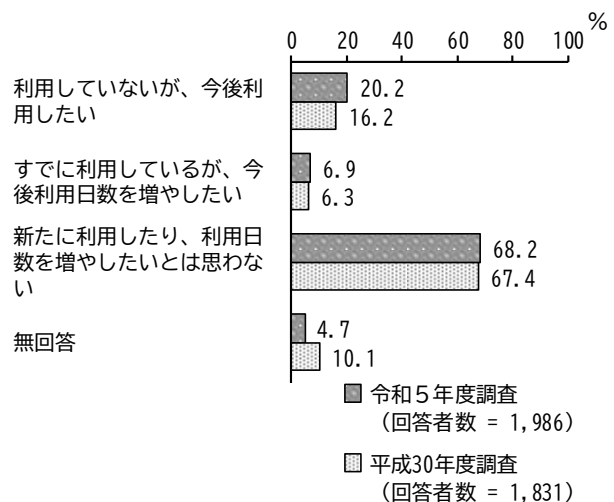
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 32 地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(○は1つ) 希望がある方はカッコ内に数字を入れてください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が 20.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



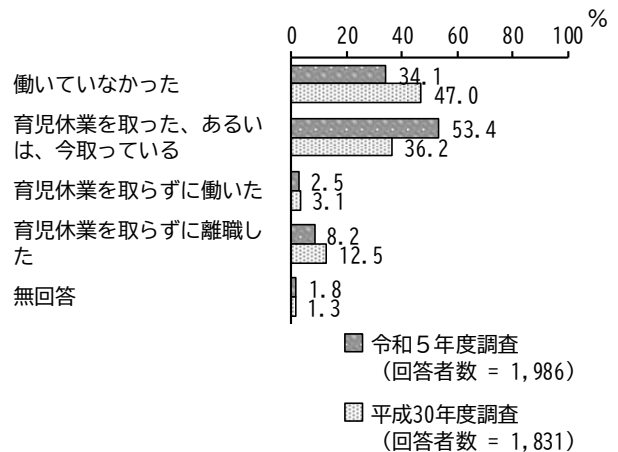
## (9) 育児休業制度の利用について

問 33 封筒のあて名のお子さんが生まれたときに、母親、父親は育児休業をとられたかをお伺いします。また、取らなかった（「3. 育児休業を取らずに働いた」「4. 育児休業を取らずに離職した」を選択）場合、その理由について下の【表】から選び、記号を記入してください。

### (1) 母親（〇は1つ）

「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 34.1%となっています。

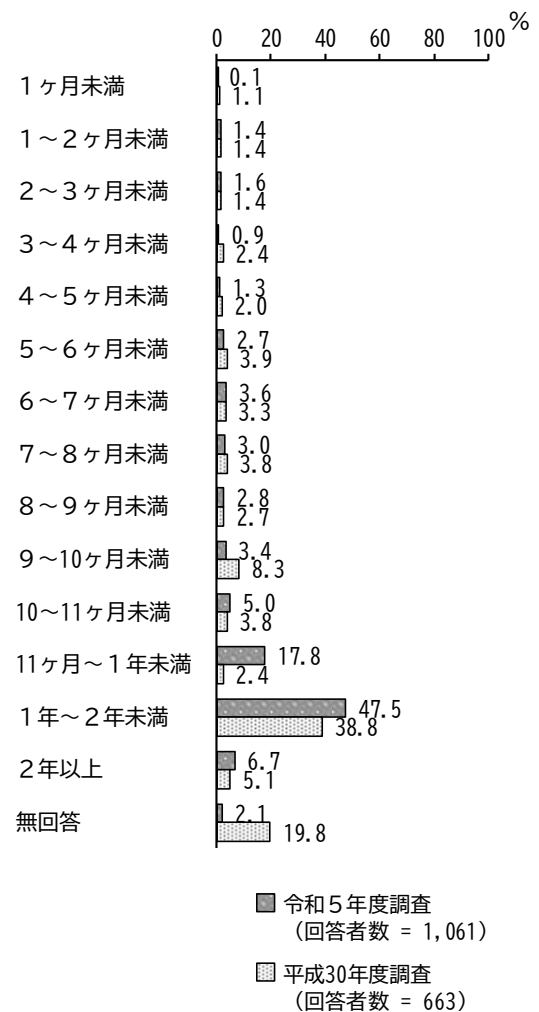
平成 30 年度調査と比較すると、「育児休業を取った、あるいは、今取っている」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



### 取得（予定）日数

「1年～2年未満」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「11ヶ月～1年未満」の割合が 17.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「11ヶ月～1年未満」「1年～2年未満」の割合が増加しています。

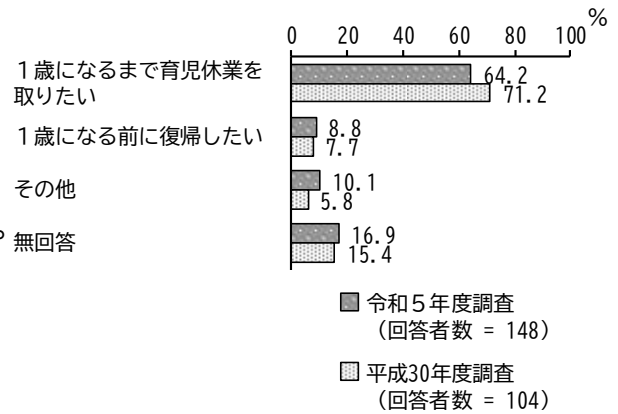


問 33－3 問 33－1 で「2. 現在も育児休業中である」を選ばれた、現在も育児休業中の方で、お子さんが1歳未満の方にお伺いします。お子さんが1歳になった時点で、必ず保育所等に預けることができれば、1歳になるまで育児休業を取りますか。または、保育所等に預けられたとしても、1歳になる前に復帰しますか。

(1) 母親が育児休業中の場合 (○は1つ)

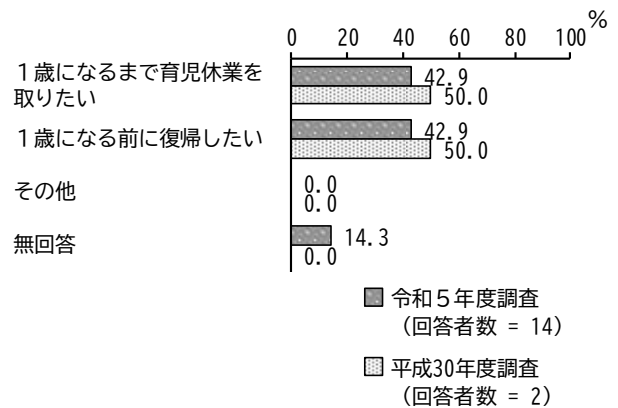
「1歳になるまで育児休業を取りたい」の割合が64.2%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が8.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「1歳になるまで育児休業を取りたい」の割合が減少しています。



(2) 父親が育児休業中の場合 (○は1つ)

「1歳になるまで育児休業を取りたい」、「1歳になる前に復帰したい」の割合が42.9%となっています。

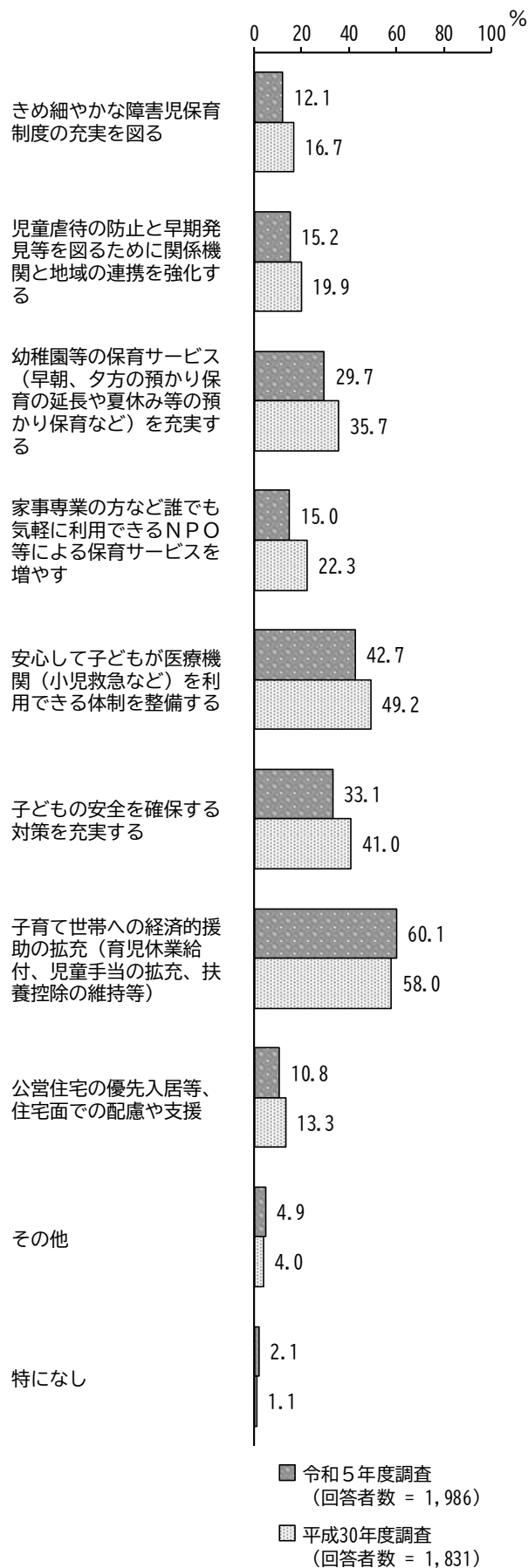
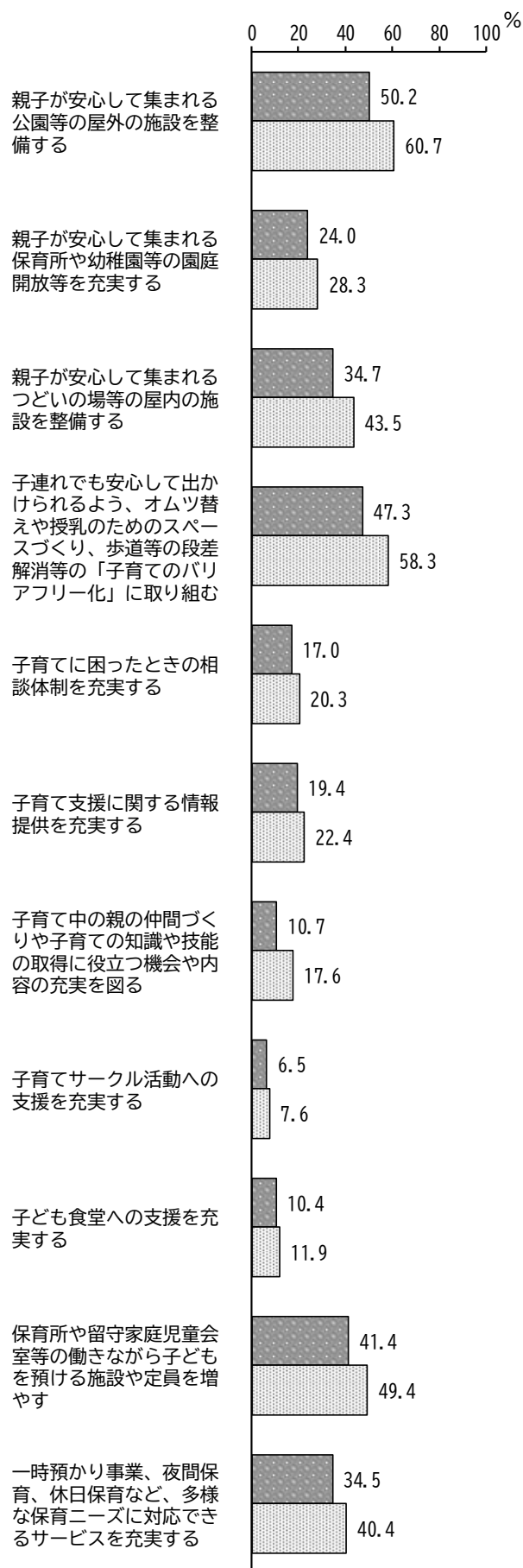


## (10) 行政サービスへの要望について

問 39 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（〇はいくつでも）

「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」の割合が 50.2%、「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」の割合が 47.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれるつどいの場等の屋内の施設を整備する」「子連れでも安心して出かけられるよう、オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道等の段差解消等の「子育てのバリアフリー化」に取り組む」「子育て中の親の仲間づくりや子育ての知識や技能の取得に役立つ機会や内容の充実を図る」「保育所や留守家庭児童会室等の働きながら子どもを預ける施設や定員を増やす」「一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する」「幼稚園等の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」「家事専業の方など誰でも気軽に利用できる NPO 等による保育サービスを増やす」「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」の割合が減少しています。



■ 令和5年度調査  
(回答者数 = 1,986)

■ 平成30年度調査  
(回答者数 = 1,831)

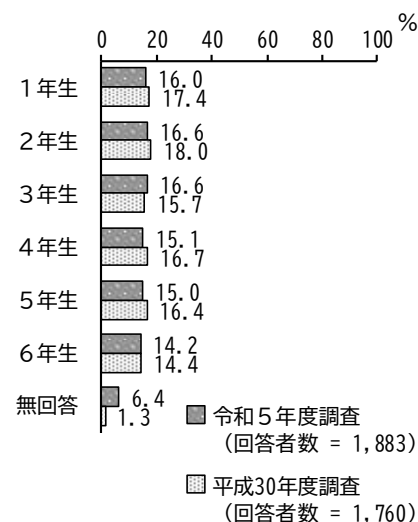
## 2 小学生児童の保護者

### (1) 封筒のあて名のお子さんご家族の状況について

問1 封筒のあて名のお子さん（今後は「お子さん」と表記します。）の生年月をお伺いします。

「2年生」の割合が16.6%と最も高く、次いで「3年生」の割合が16.6%、「1年生」の割合が16.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

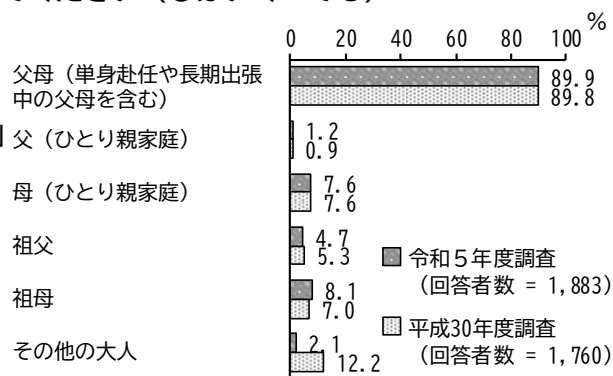


問3 お子さんとの同居・近居（概ね30分以内に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。

#### (1) お子さんと同居している方（大人）に○をつけてください（○はいくつでも）

「父母（単身赴任や長期出張中の父母を含む）」の割合が89.9%と最も高くなっています。

平成30年度調査と比較すると、「その他の大人」の割合が減少しています。

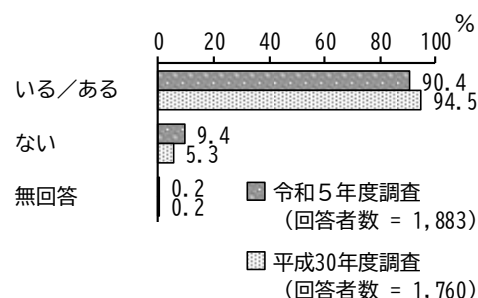


※前回調査では、「その他の大人」の選択肢が「その他」でした。

問8 お子さんの健康や教育など子育てについて、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

「いる／ある」の割合が90.4%、「ない」の割合が9.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

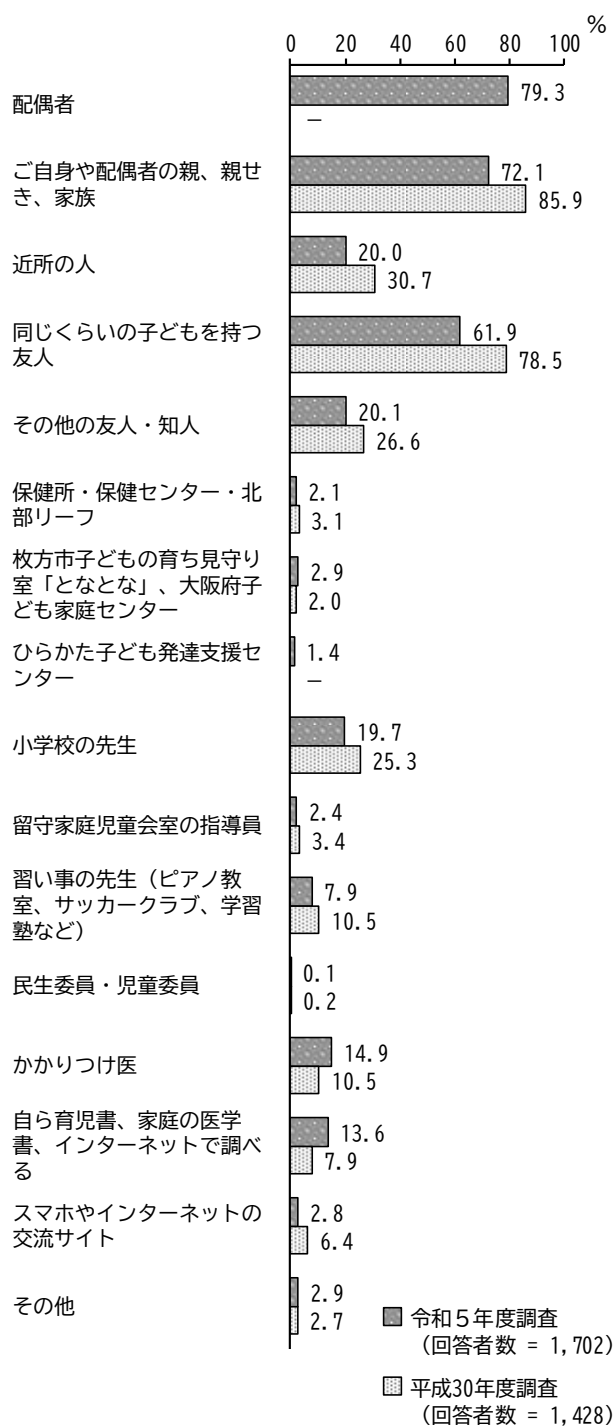




問8－1 問8で「1. いる／ある」を選ばれた方にお伺いします。気軽に相談できるのは、どのような人や場所などですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」の割合が79.3%と最も高く、次いで「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」の割合が72.1%、「同じくらいの子どもの持つ友人」の割合が61.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自ら育児書、家庭の医学書、インターネットで調べる」の割合が増加しています。一方、「ご自身や配偶者の親、親せき、家族」「近所の人」「同じくらいの子どもの持つ友人」「その他の友人・知人」「小学校の先生」の割合が減少しています。



※前回調査では、「配偶者」「ひらかた子ども発達支援センター」の選択肢はありませんでした。

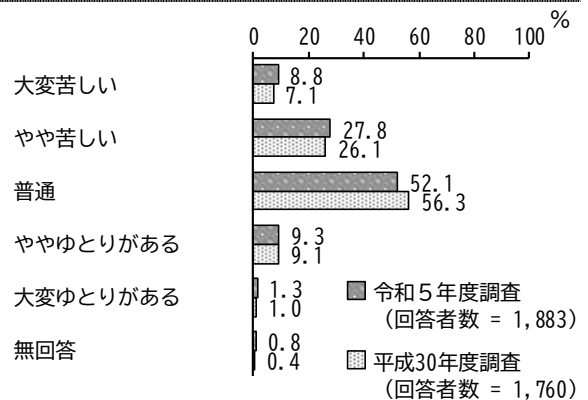
※前回調査では、「枚方市子どもの育ち見守り室「となとな」・大阪府子ども家庭センター」の選択肢が「枚方市子ども総合相談センター「となとな」・大阪府子ども家庭センター」、「かかりつけ医」の選択肢が「医師、看護師」、「スマホやインターネットの交流サイト」の選択肢が「携帯電話やインターネットの交流サイト」でした。

## (2) 保護者の就労状況について

### 問9 世帯の現在の経済的な暮らし向きについて、どう感じていますか。(○は1つ)

「やや苦しい」の割合が 27.8%となっています。

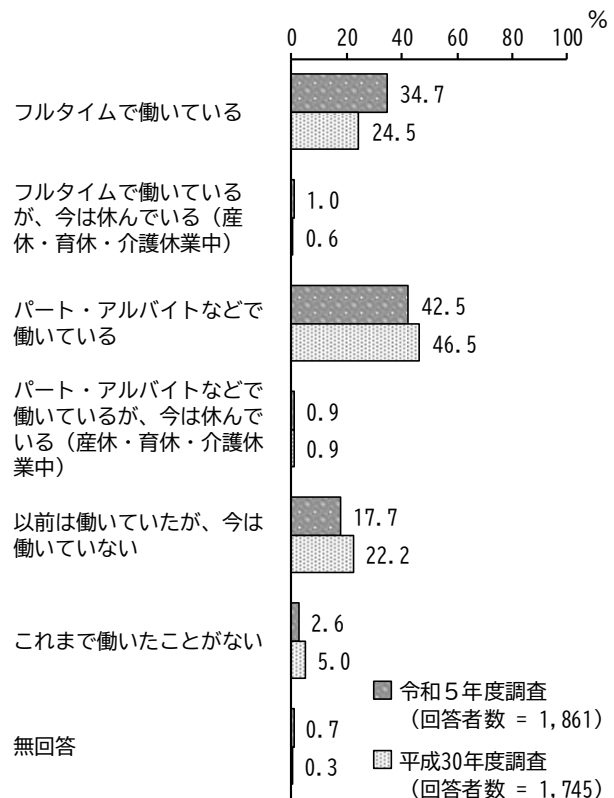
平成 30 年度調査と比較すると、「大変苦しい」「やや苦しい」「普通」の割合が増加しています。一方、「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」の割合が減少しています。



### 問10 「母親」の働いている状況についてお伺いします。自営業や自営業を手伝っている場合も含みます。(○は1つ)

「パート・アルバイトなどで働いている」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が 34.7%、「以前は働いていたが、今は働いていない」の割合が 17.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「フルタイムで働いている」の割合が増加しています。

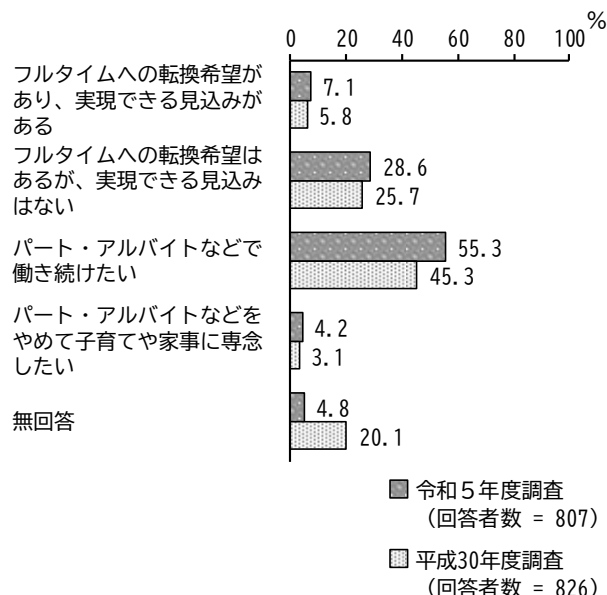


問12 問10または問11で、「3. パート・アルバイトなどで働いている」または「4. パート・アルバイトなどで働いているが、今は休んでいる（育休・介護休業中）」を選ばれた、パート・アルバイトなどで働いている方（休業中の方も含む）にお伺いします。フルタイムへの転換希望はありますか。（○は1つ）

（1）母親（○は1つ）

「パート・アルバイトなどで働きたい」の割合が55.3%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「パート・アルバイトなどで働きたい」の割合が増加しています。

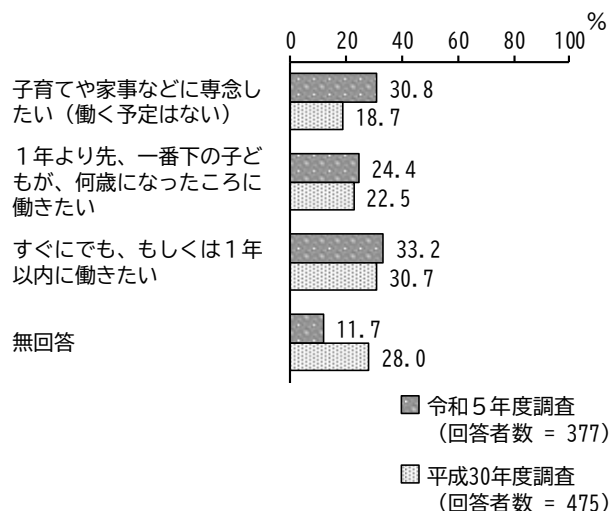


問13 問10または問11で「5. 以前は働いていたが、今は働いていない」または「6. これまで働いたことがない」を選ばれた、仕事をお持ちでない方にお伺いします。働きたい希望はありますか。カッコ内には具体的な数字を入れてください。

（1）母親（○は1つ）

「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」の割合が33.2%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合が30.8%、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」の割合が24.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「子育てや家事などに専念したい（働く予定はない）」の割合が増加しています。

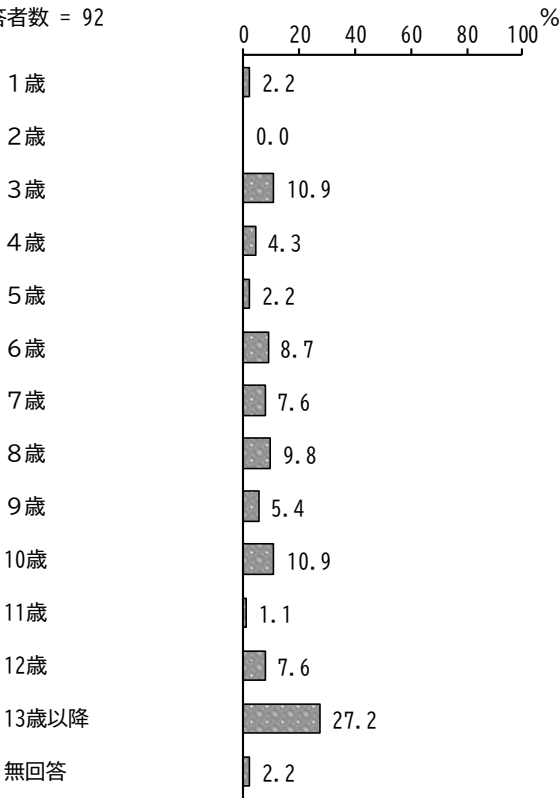


※前回調査では、「1年より先、一番下の子どもが、何歳になったところに働きたい」の選択肢が「1年より先、一番下の子どもが大きくなったら働きたい」でした。

就労を希望する末子の年齢

「13 歳以降」の割合が 27.2%と最も高く、次いで「3 歳」、「10 歳」の割合が 10.9%となっています。

回答者数 = 92

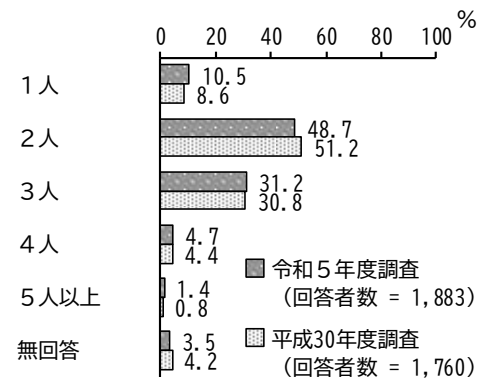


### (3) 子育てについて

#### 問 14 希望する子どもの数は何人ですか。

「2人」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「3人」の割合が 31.2%、「1人」の割合が 10.5%となっています。

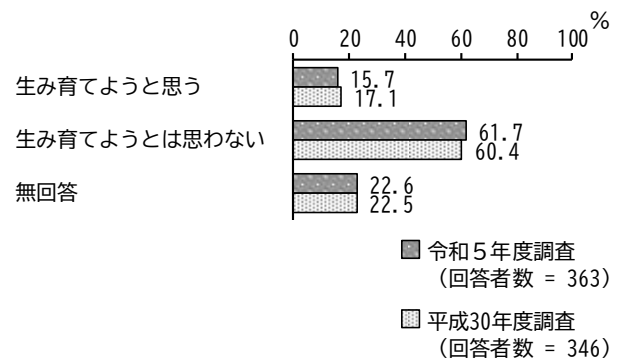
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 問 15 希望する子どもの数が現在の子どもの数より多い方にお伺いします。現在の家庭・教育環境等においても、もう一人子どもを生み育てようと思いますか。(〇は1つ)

「生み育てようと思う」の割合が 15.7%、「生み育てようとは思わない」の割合が 61.7%となっています。

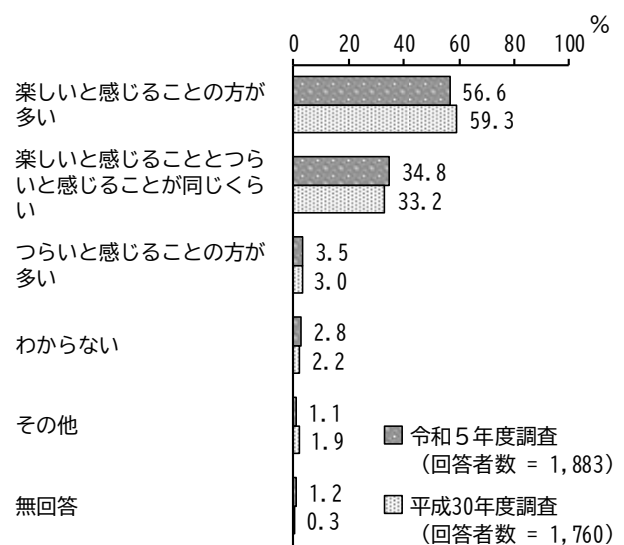
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



#### 問 16 子育てについて、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の割合が 34.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

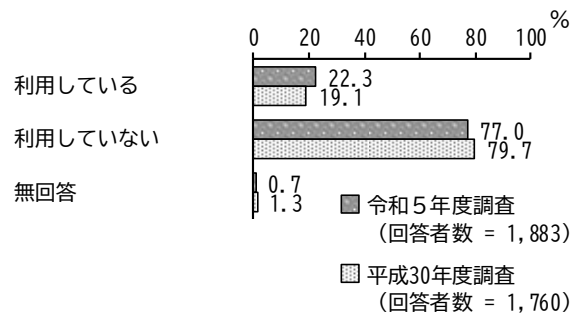


#### (4) 留守家庭児童会室の利用について

問 20 平日（月曜日～金曜日）に、現在、留守家庭児童会室を利用されていますか。  
（○は1つ）

「利用している」の割合が 22.3%、「利用していない」の割合が 77.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



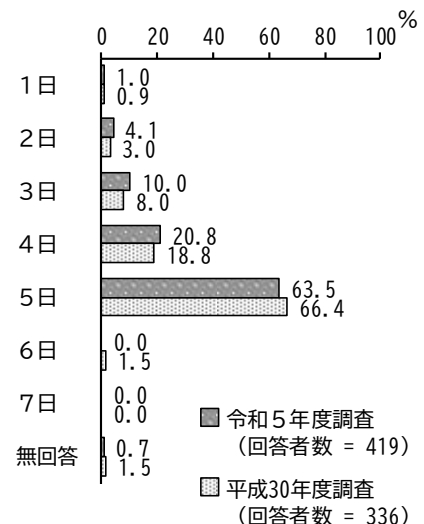
問 21 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。現在利用している留守家庭児童会室について、もっとも多いパターンとして、1 週間当たり何日くらい、時間は何時頃まで利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。カッコ内に数字を入れてください。

##### (1) 現在

##### 留守家庭児童会室の利用日数／週

「5日」の割合が 63.5%と最も高く、次いで「4日」の割合が 20.8%、「3日」の割合が 10.0%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

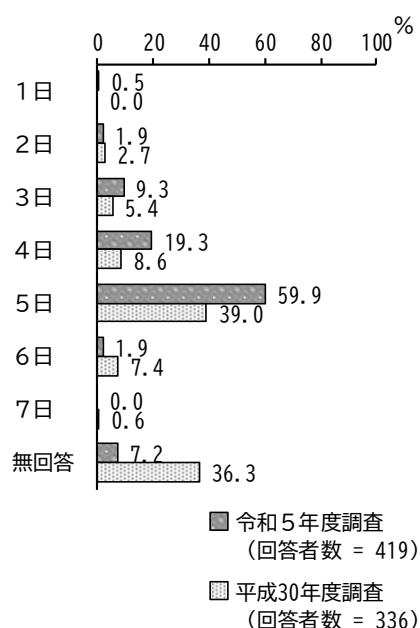


## (2) 希望

### 留守家庭児童会室の利用日数／週

「5日」の割合が 59.9%と最も高く、次いで「4日」の割合が 19.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「4日」「5日」の割合が増加しています。一方、「6日」の割合が減少しています。

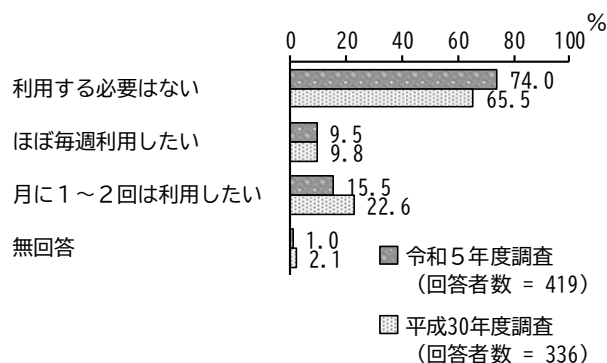


問 21－2 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。土曜日、日曜日・祝日に、留守家庭児童会室の利用希望はありますか。(一時的な利用は除きます)  
(○は1つ) 希望がある場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。

### (1) 土曜日

「利用する必要はない」の割合が 74.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が 15.5%となっています。

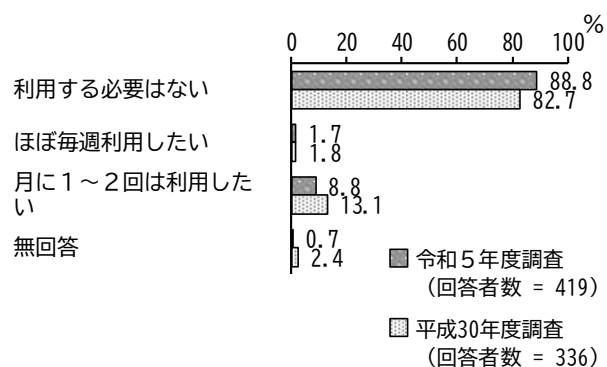
平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「月に1～2回は利用したい」の割合が減少しています。



### (2) 日曜日・祝日

「利用する必要はない」の割合が 88.8%と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。

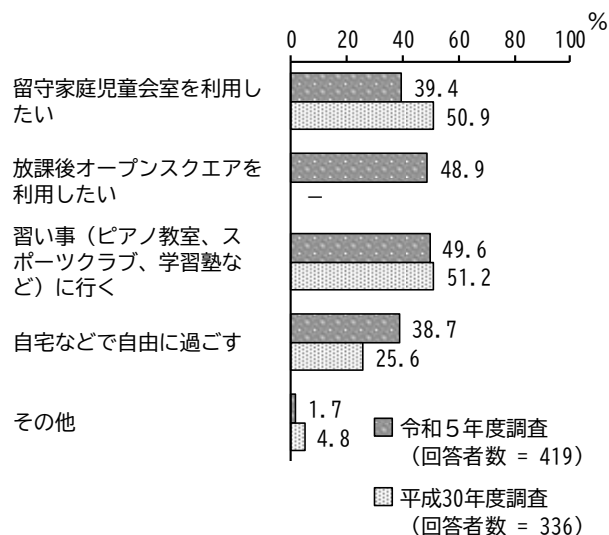


問 21－5 問 20 で「1. 利用している」を選ばれた方に引き続きお伺いします。小学5年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(〇はいくつでも)

「1. 留守家庭児童会室を利用したい」を選択した場合は、カッコ内に具体的な数字を入れてください。小学5・6年生のお子さんの保護者の方も、現状を踏まえてご回答ください。

「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）に行く」の割合が49.6%と最も高く、次いで「放課後オープンスクエアを利用したい」の割合が48.9%、「留守家庭児童会室を利用したい」の割合が39.4%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅などで自由に過ごす」の割合が増加しています。一方、放課後オープンスクエアの利用など、選択肢が増えたことから「留守家庭児童会室を利用したい」の割合が減少しています。



※前回調査では、「放課後オープンスクエアを利用したい」の選択肢が「放課後自習教室を利用したい (39.3%)」「放課後子ども教室を利用したい (38.4%)」と分かれていました。

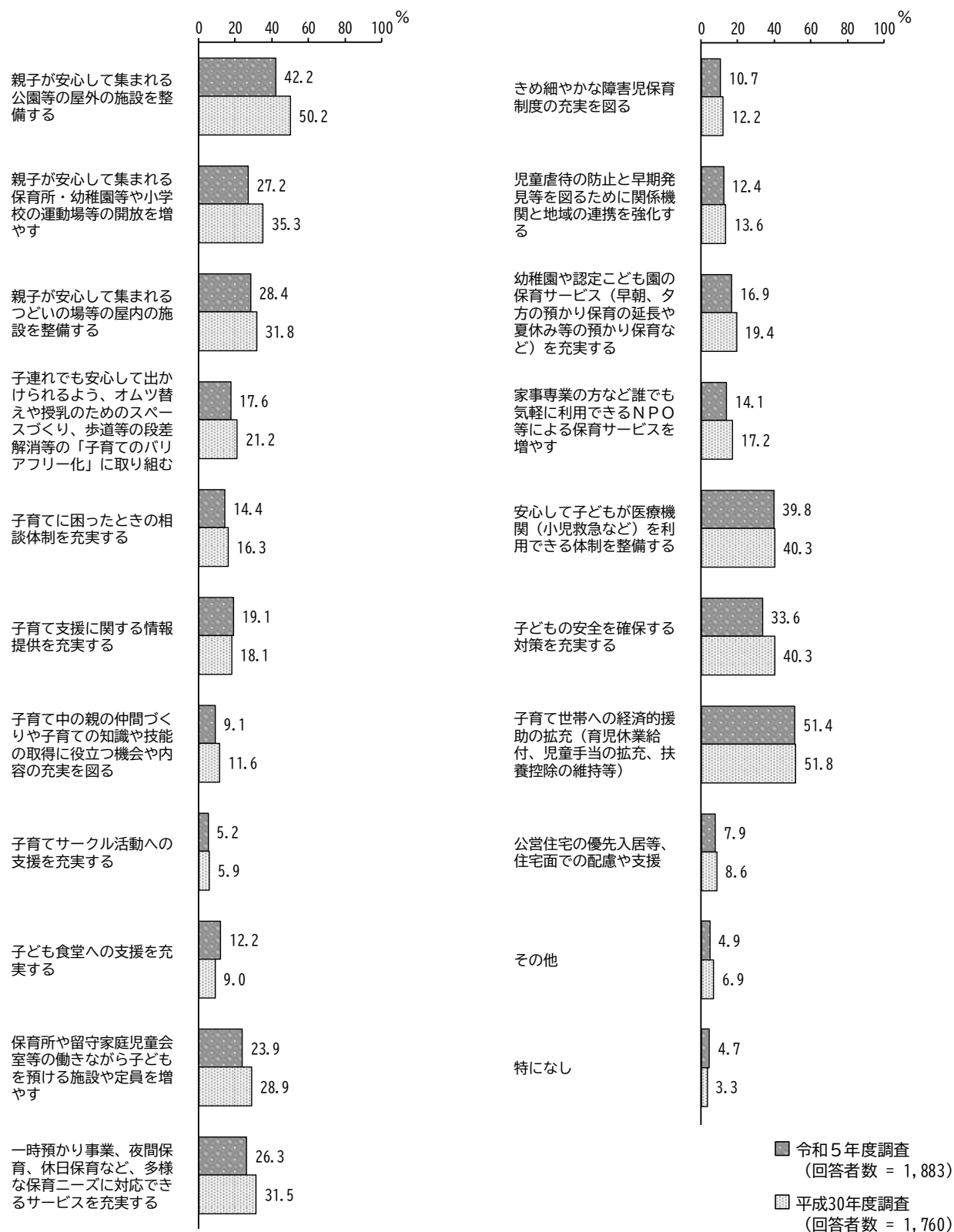


## （５）行政サービスへの要望について

問 36 行政（市、府、国）に対して、子育てサービスの現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図ってほしいですか。（○はいくつでも）

「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当の拡充、扶養控除の維持等）」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」の割合が 42.2%、「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」の割合が 39.8%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「親子が安心して集まれる公園等の屋外の施設を整備する」「親子が安心して集まれる保育所・幼稚園等や小学校の運動場等の開放を増やす」「一時預かり事業、夜間保育、休日保育など、多様な保育ニーズに対応できるサービスを充実する」「子どもの安全を確保する対策を充実する」の割合が減少しています。



※前回調査では、「幼稚園や認定こども園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」の選択肢が「幼稚園の保育サービス（早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休み等の預かり保育など）を充実する」でした。

枚方市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査（速報）

---

発 行 年 月：令和6年5月

発 行：枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課

〒573-8666

大阪府枚方市大垣内町2丁目1番20号

電 話：072-841-1375